

海外安全対策情報(ウルグアイ)2023年第1四半期(1月～3月)

1 治安・社会情勢

当地の治安情勢については、2022年同期と比較すると殺人、窃盗発生件数は微減しましたが、強盗発生件数が2.6%増加しました。引き続き強盗被害に注意が必要です。

また、ウルグアイ各地の治安対策及びDV事案対応件数の増加のため、慢性的な警察官の人員不足が生じているところ、日頃から安全対策の意識を上げることが重要です。

2 一般犯罪、凶悪犯罪の傾向

(1)殺人・強盗・窃盗

ウルグアイ内務省の発表によると、2023年(1月～3月)の殺人、強盗及び窃盗発生件数は、前年同期と比較すると殺人-7.9%、窃盗-5.8%、強盗+2.6%となりました。

殺人の原因は、犯罪組織間や麻薬密売に関わる抗争や報復によるものが全発生件数の40%を占めており、犯人に対抗する等の偶発的なものが23%、強盗や占拠行為によるもの等が6%、DV及びDVに起因するものが6%、その他が4%となっています(原因不明20%)。これに対し、ウルグアイ全土における麻薬犯罪対策をはじめとする治安対策が進められており、特にモンテビデオ市郊外がその対象地域の中心となっています。

2023年(1月～3月)における殺人発生件数が多い県は、モンテビデオ県:46件、カネロネス県:13件、リベラ県:7件となっております。

また、最も殺人発生件数の多いモンテビデオ県における県警察管轄区域ごとの殺人発生件数は、第24区域:10件、第18区域:6件、第17区域:5件、第19区域:4件となっております。(詳細は、下記HP)

昨今の一般犯罪は昼夜問わずに発生しており、銃器や刃物を使用した事件も増加しています。(ウルグアイ国内において登録済銃は約60万丁ですが、同等数の銃が不法に出回っていると言われていたため、国民の3人に1人が銃を所持している計算となります。)

また、従来比較的安全と言われていた地区においても事件が発生しているため、殺人、強盗、窃盗等の犯罪被害には引き続き注意が必要です。

○2023年(1月～3月)の犯罪統計(内務省発表)

- ・殺人 : 93件(前年に比して 7.9%減)
- ・窃盗 : 29,716件(前年に比して 5.8%減)
- ・強盗 : 6,636件(前年に比して 2.6%増)
- ・DV : 10,765件(前年に比して 4.3%増)

○参考

ウルグアイ内務省ホームページ

・2023年(1月～3月)犯罪統計

<https://www.minterior.gub.uy/index.php/unicom/noticias/10908-cifras-de-delito-en-el-primer-trimestre-de-2023>

(2) 事案一覧(邦人在留エリア対象)

別紙参照。

3 テロ・爆発事件発生状況

事件は報告されていません。

4 邦人被害の犯罪発生状況

2023年第1四半期において邦人被害は発生しませんでした。

<注意点>

強盗事件等は、基本的には夜間の人通りの少ない場所において発生する傾向が強いですが、昨今の一般犯罪は時間や場所を問わずに発生し、拳銃等が凶器として利用されることが多くなっています。外出する場合には様々な形態の犯罪に遭遇する可能性を念頭に、周囲に警戒しながら行動するよう心がけてください。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

昨今、ウルグアイ国内において、けん銃や凶器を使用した強盗事件が多発しています。また、一般的に外国人は「裕福」と見られているため、日本企業及びその関係者が強盗や誘拐の標的となる可能性も排除できません。仮に強盗事件に遭遇した場合には、抵抗する・大声を上げる・逃げる等犯人を刺激するような行動はくれぐれも避けてください。

また、日頃より「安全のための3原則」である、「目立たない」、「行動を予知されない」、「用心を怠らない」を心がけ、「自分の身は自分で守る」ことを意識しながら行動することが肝要です。

<犯罪事案一覧(邦人在留エリアを対象とした主なもの)>

発生日時	発生場所	事案種類	概要
1月1日	モンテビデオ県 ブラソ・オリエンタル地区	殺人	深夜、29歳の女性が自宅に訪問してきた男に銃撃され、死亡。
1月4日	モンテビデオ県 カラスコ・ノルテ地区	殺人	若者のグループ同士の抗争が発生。少年が頭部を撃たれ、死亡。15歳の少年が逮捕された。
1月11日	モンテビデオ県 セロ地区	殺人	地元の工事作業員の遺体が、縛られた状態で袋に包まれ発見された。
1月21日	モンテビデオ県 カサヴァレ地区	殺人	セメンテリオ・デル・ノルテ墓地にて、殺害された上に焼かれた40代女性が発見された。犯人は麻薬密売人とみられている。
1月29日	モンテビデオ県 パソ・デ・ラス・ドゥラス地区	殺人	路上を歩いていた男性が、男二人組から銃撃され、死亡。同地区は文化エリアとなっており、訪れる観光客も多い。
2月15日	モンテビデオ県 ピエドラス・ブランカス地区	殺人	通報を受けた警察官が、銃で撃たれて死亡している10代の少年を発見した。
2月20日	モンテビデオ県 フロール・デ・マロニャス地区	殺人	25歳の女性が、男に銃で胸部を撃たれ、死亡した。犯人は17歳の少年であった。
2月20日	カネロネス県 ラス・ピエドラス市	殺人	バイクを運転中の24歳の警察官が、銃撃され死亡。被害者の警察官は非番であり、武器を所持していなかった。
3月1日	フロリダ県 フロリダ市	強盗	男が店舗に押し入り、女性店員にガソリンをかけて、金を出さないと火をつけると脅した。男は2万ペソを持って逃走した。
3月7日	カネロネス県 エスタシオン・アトランティダ	強盗・殺人	50代の女性宅へ、近隣の男二人組が押し入り、女性の頭部を殴打するなどして殺害。その際、ノートパソコンや携帯が奪われた。
3月8日	モンテビデオ県 ラ・パロマ地区	殺人	帰宅中の25歳男性が、バイクと車に乗った男達から頭部等を銃撃されて、死亡した。(以前した喧嘩が原因と見られている。)

3月23日	カネロネス県 バロス・ブランコス	殺人	バッグの中から、男性の頭部が発見された。犯行にかかわったとみられる麻薬関係者5名の身柄が拘束された。
3月25日	カネロネス県 サン・ラモン	強盗・殺人	麻薬中毒者の30代男女が、タクシー運転手を暴行し殺害、現金と携帯電話2台が奪われた。